1　基本情報

施設名称	大阪市立福島区民センター
施設所管課・担当	福島区役所市民協働課（市民協働）担当：山岡 ・岡村
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的として設置された施設。
業務の概要	・貸館運営業務 ・施設総合管理業務（各種設備機器点検等） ・コミュニティ育成事業の企画実施業務（自主事業等）
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	利用率/77％　利用者満足度/92％
指定管理者名	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和３年４月１日から令和８年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日から令和８年３月31日

2　管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	77％以上	92％以上
年度実績	68.7%	97.9%
達成率	89.2%	106.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	113,803	97,269	16,534
稼働率	68.7%	65.2%	3.5%

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	19,801,594	20,335,861	3,287,883	電気及びガス等エネルギーコストの高騰による補填
	計画	16,513,711	16,520,293		
利用料金（使用料）収入	実績	16,363,080	13,343,480	123,080	
	計画	16,240,000	16,135,000		
自主事業収入	実績	5,558,830	3,764,840	-1,376,170	自主事業見直しに伴う収入の減
	計画	6,935,000	6,935,000		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	41,723,504	37,444,181	2,034,793	
	計画	39,688,711	39,590,293		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	19,761,571	19,484,114	0	
	計画	19,761,571	19,484,114		
物件費	実績	14,297,794	13,353,795	3,613,326	電気及びガス等エネルギーコストの高騰による光熱費等の増加・物価等高騰による増
	計画	10,684,468	10,870,881		
修繕費	実績	501,437	499,961	1,437	
	計画	500,000	500,000		
自主事業支出	実績	3,012,100	2,356,749	-3,070,350	自主事業の講座を精査したことによる減
	計画	6,082,450	6,082,450		
その他支出	実績	2,754,392	2,626,028	94,170	
	計画	2,660,222	2,652,848		
合計	実績	40,327,294	38,320,647	638,583	
	計画	39,688,711	39,590,293		

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率（77％以上）	89.2%	C	目標を下回るもののSNS（X）を令和７年3月から運用し自主事業や直前割をPRするなど情報発信に努めている。令和６年度に音響工事が終わったこともありホールの利用率が特に伸びており、全体の利用率は昨年度から3.5%上昇している。
利用者満足度（92％以上）	106.4%	B	設備や備品への要望はあるものの、総じて満足度は高い。

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費の経費を削減	B	光熱水費が高騰している中で大阪市の取り組みである熱中症対策「涼ん処」として協力いただきつつ事務費の支出を抑えることで、快適な利用と経費削減を両立している。

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	・職員の配置について、適切に配置している。 ・平等利用の確保について、減免団体への対応、一般利用者へはウェブ申込やコンビニ決済が浸透するようホームページや窓口で誘導した。 ・施設の維持管理について、日常点検を適切に実施し、点検結果をもとに設備（空調・エレベーター等）について、適切な修繕を行なった。 ・安全管理、危機管理について、AED講習会や自衛消防避難訓練を行っている。
	事業計画の実施状況	B	・アンケート調査での満足度の把握や、受付窓口横に会館独自の「意見箱」を設置し、常時意見を聞く体制を整えている。 ・利用団体が情報発信できる手段として、「コミ協だより」や「利用者PRコーナー」を設置し、コミュニティづくりについて関心を高めてもらうよう情報発信の仕組みを構築している。 ・SNS（X）を令和７年３月から開設し講座や直前割の情報発信を行い、施設の認知度向上を図った。
	施設の有効利用	B	・大阪福島ライオンズクラブと連携したダンスコンテストなど新たなイベントを生み出した。また、区民まつりの参加団体であったウクレレの講師を自主事業の講師として招いた結果、人気講座となるなど地域コミュニティの形成に貢献している。 ・自主事業を行うことにより収入を確保し、安定的な施設運営に寄与している。
社会的責任・市の施策との整合性		B	・行政、各種団体と連携・協働し地域コミュニティ活動の拠点施設として活動するなど、本市の施策と整合していた。 ・令和７年度の障がい者雇用率が年度平均4.28％であり法定雇用率（2.5％）を達成している。

5　利用者ニーズ・満足度等

【第1回アンケート実施】実施期間：令和7年10月 回答人数：85名／【第２回アンケート実施】実施期間：令和8年3月 回答人数： 120名
満足度について①予約手続き②スタッフ対応③清掃について④設備・備品について⑤ホームページの分かりやすさについてを調査し、総合満足度は以下のとおりの結果となった。
【第一回】大変満足34.5％・満足63.2％・不満0％・大変不満0％・未回答2.3％（一般85人）
【第二回】大変満足49.1％・満足49.1％・不満0％・大変不満0％・未回答1.8％（一般110人）
大変満足40％　・満足60％　・不満0％・大変不満0％・未回答0％　（減免10人）

6　外部専門家意見

・自主事業の収入は昨年度より増加しており、工夫の成果が見られる。他のイベント出演者を自主事業の講師として招いた事例は評価できる。今後もつながりを活かした企画を積極的に実施いただき、相乗効果を生み出されたい。
・アンケートの整理は分かりやすいが、利用者の年代別傾向や申込方法などまで分析し、潜在的な改善ポイントを見つけてほしい。
・アンケート結果の中で、初回利用者の「施設を知ったきっかけ 」が「ホームページ」と回答した方が多いため、どのようにしてホームページにたどりついたのか（SNSで流れてきた・ポスターのQRコードから等）流入経路を把握されたい。
・SNSの発信頻度の課題については、利用者の投稿をシェア・リツイートするなどルール化する工夫を行い、認知度向上に向け取り組んでほしい。
・他支部の取組みを真似できるのが強みだと思うので、事業者の支部間で連携を強め、ノウハウを共有して効率化・質の向上を図ってほしい。

7　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・提案当時の目標設定等について妥当性の検証は必要だが、昨年度より利用率が上昇しており、評価できる。
市費の縮減	B	・「涼ん処」への協力や、電気使用量低減策を進めている。
管理運営の履行状況 　施設の設置目的の達成及びサービスの向上 　　施設の管理運営 　　事業計画の実施状況 　　施設の有効利用 　社会的責任・市の施策との整合性	B	・施設の管理運営は適切に取り組まれている。 ・今後もイベント等でのつながりを活かした企画や地域団体とも連携し、自主事業を積極的に行ってほしい。 ・ピアノ等、福島区民センターにしかない強みを最大限PRしつつ、ＳＮＳの運用を継続的に行い、認知度向上に繋げていただきたい。
総合評価	B	